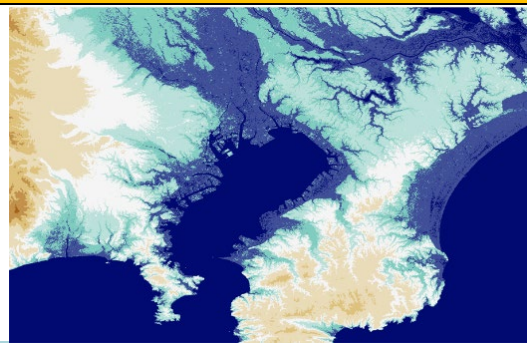


国際社会学部

地理情報システム学

Geographic Information System



どのような学問か

地理情報システム学（Geographic Information System, GIS）は、地理空間データの収集、管理、解析、可視化に焦点を当てた学問分野。利用分野は天然資源（森林資源管理、水資源管理、野生動物保護など）、危機管理（自然災害対策など）、保健医療、交通、ビジネス、行政、公益サービス、教育など多岐に渡り、他の学問分野とも密接に関連しています。GISの最も重要な側面の一つは、地理空間データの解析です。GISソフトウェアやデータサイエンスを駆使して、地理的なパターンやトレンド、相互関係を調査し、地理的な視点から多岐の分野に渡る地域問題の理解と解決策を探求する学問が地理情報システム学です。

外大の地理情報システム学

GISは地域研究や環境問題研究の分野でも重要な役割を果たしています。GISを地域研究や環境問題研究の分野に組み込むと、地理的な観点の重要性が強調されます。外大ではGISの活用を通して、社会、経済、環境、空間的要因の間の複雑な相互作用に関する知識を深めることを学びます。更には空間関係の検討、空間パターンの特定、地域開発や環境問題への空間的影響の評価などの具体的な研究課題に取り組みます。地理空間データと情報科学（データサイエンス）を活用することで、地域、人間の活動、環境の間の相互作用についてのより深い理解に貢献する地域研究が志向できます。

関連する授業一覧（2023年度）

東城 文柄

- 「環境保全論概論A・B」
- 「環境保全論演習A・B」
- 「分析道具としてのデータサイエンス入門」

ゼミ

- 東城文柄（環境保全論）

関連する学問分野

- 地理学
- 地域研究
- 情報科学
- 環境学
- 社会科学
- 開発学

おススメの本

- 『QGIS 入門 第3版』
- 『QGIS GUIDE BOOK-まちの課題・資源を可視化するQGIS活用ガイドブック』
- 『みんなのR 第2版』
- 『Rではじめる地理空間データの統計解析入門』